

PRESS RELEASE

2014年3月25日

株式会社インターネットイニシアティブ

IIJ、「IIJ セキュア MX サービス」のメールアーカイブ機能を拡充

-- 月額固定でメール保管容量が無制限の「アドバンスストアークाइブオプション」を提供開始 --

株式会社インターネットイニシアティブ(IIJ、本社:東京都千代田区、代表取締役社長:勝 栄二郎、コード番号:3774 東証第一部)は、企業のメールシステムに必要なセキュリティ機能をSaaS型で提供する「IIJ セキュア MX サービス(以下、セキュア MX)」のメールアーカイブ(保管)機能を強化し、新たなオプションとして「アドバンスストアークाइブオプション」を2014年4月21日より提供開始します。

従来のメールアーカイブ機能は、送受信メールを全文保管するストレージのディスク容量に応じた課金体系でしたが、本オプションでは、利用するユーザ数(アカウント数)と保管期間に応じた料金設定のため、お客様はディスク容量を意識せずにご利用いただけます。

アドバンスストアークाइブオプションの概要は以下のとおりです。

アカウント課金で保管容量は無制限

保管期間とアカウント数に応じた課金体系で、その期間中のディスク容量は無制限のため、メール容量の予測が難しいお客様も必要なディスク容量を気にすることなく、サービスをご利用いただけます。保管期間は1年～10年まで選択が可能です。

本文/添付ファイル内のキーワード全文検索対応

セキュアMXを通過したメールは国内のIIJデータセンターにあるストレージに保管します。ディスクに保管されたメールは添付ファイル内の文言を含め、キーワードによる高速全文検索が可能です。ヘッダ、本文、添付ファイル、圧縮された添付ファイル(zip, tar, gzip, bzip)内の文字列でキーワード検索が可能のため、必要なメールを簡単に取り出すことが可能です。

改ざん検知機能

メール保管時にメールデータのハッシュ値(*)を保存します。ディスク保管されたメールを検索した際に、ハッシュ値を検証・照合することでデータが改ざんされているか否かを確認し、表示します。本機能でメールの信頼性を担保できるため、証拠保存対策としても有効です。

Office 365、Microsoft Exchange との連携

クラウドサービスのOffice 365、Microsoft Exchange のジャーナリング機能と連携して社内メールを保存することが可能です。セキュアMXを通過する社外からのメールを保管するだけでなく、Office 365、Exchangeのメールサーバを通過するメールのコピーを転送し、セキュアMX側で保管します。本機能により、Office 365、Exchangeを利用しているお客様から要望の多い、社内メールを含めたすべてのメールを海外ではなく国内のストレージに保管したいというニーズに対応します。

(*)ハッシュ値:ハッシュ関数という特別な関数を利用して生成された、ファイル固有の識別番号。違うデータから同じハッシュ値はほとんど生成されず、ハッシュ値からは元のデータが復元できないことから、認証や改ざん検知に用いられる。

IIJ では、今回のメールアーカイブ機能強化により、様々な企業規模や利用傾向のお客様がより導入しやすい環境を実現し、コンプライアンス対応や内部統制対策の一環として高まるアーカイブのニーズに応えています。

■参考価格

1 アカウントあたり 200 円～(保管期間により個別見積もり)

報道関係お問い合わせ先

株式会社インターネットイニシアティブ 広報部 増田、村松

TEL: 03-5259-6310 FAX: 03-5259-6311

E-mail: press@ij.ad.jp URL: <http://www.ij.ad.jp/>